

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和04年04月08日

計画の名称	倉敷市阿知3丁目東地区のにぎわいの再生と住環境の向上（Ⅱ期）													
計画の期間	平成29年度 ～ 令和03年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	倉敷市													
計画の目標	倉敷市の玄関口および美観地区周辺にふさわしい賑わいのあるまちづくりを行うとともに、倉敷一番街商店街の再生に寄与する。 建築物の耐震化や防火対策を行うことにより、安全で安心できる住まい・まちづくりを実現する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		2,585	A	2,585	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H28)	(H31)	(R03)
1	本地区周辺の歩行者通行量を874人／日（平成28年度）から1,100人／日（令和3年度）に約25%増加させる。 歩行者通行量：隣接する倉敷一番街商店街の歩行者通行量 毎年夏季の日曜日に実施している歩行者通行量調査の数値			
		874人／日	人／日	1100人／日
2	本地区の都市機能を再生し、居住者人口を約90人（平成28年度）から約500人（令和3年度）に増加させる。 居住人口：住民基本台帳等において確認できる本地区の居住者数			
		90人	人	500人
3	本地区の建物の不燃化率(建築面積ベース)を14%（平成28年度）から100%（令和3年度）にする。 地区不燃化率：登記簿等において確認できる本地区の建物の非木造率 非木造建築物建築面積／建築物総建築面積			
		14%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

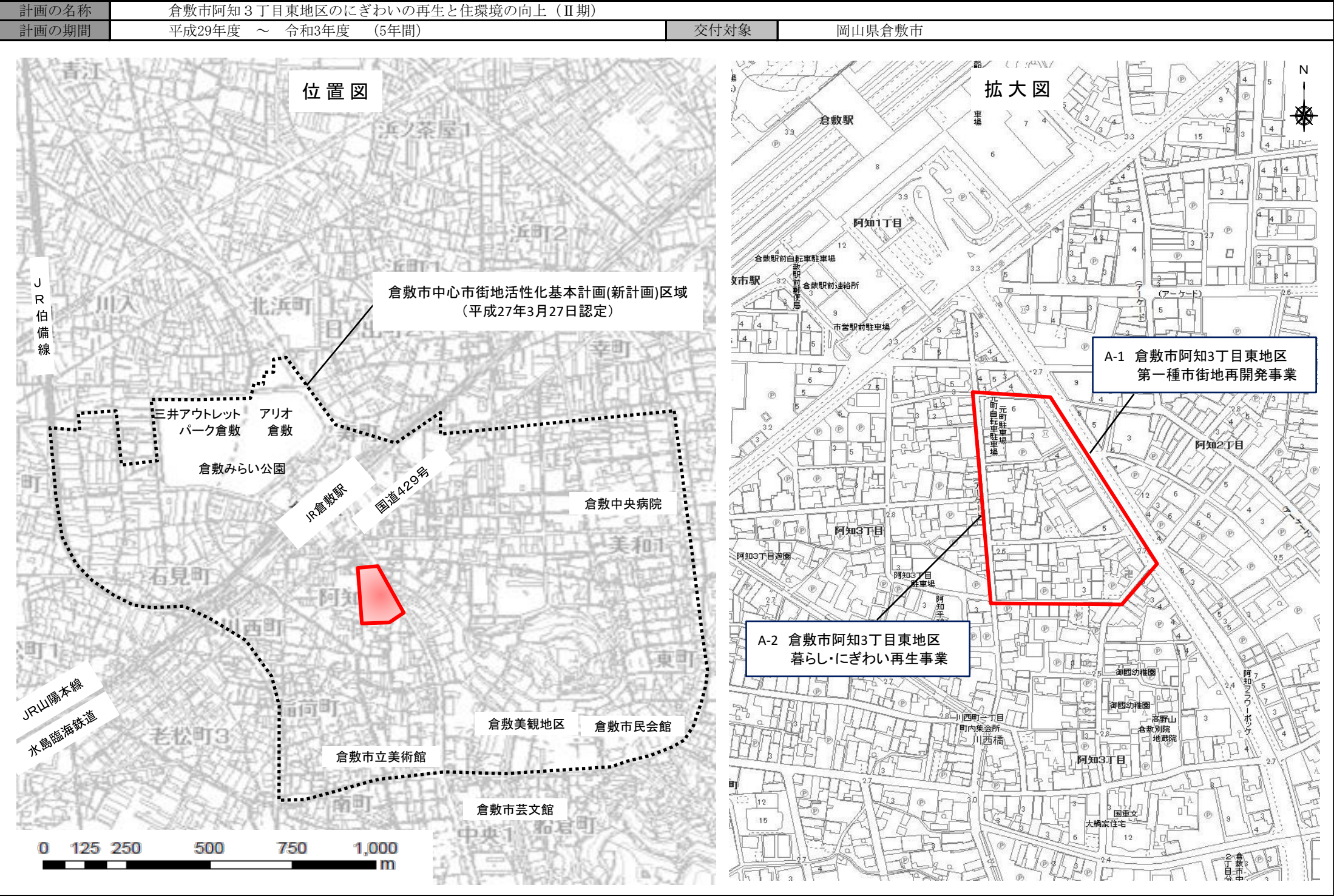
A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	A16-001	再開発	一般	倉敷市	間接	再開発組合	－	－	倉敷市阿知 3 丁目東地区 第一種市街地再開発事業	商業、住宅等 1. 7 h a	倉敷市	■	■	■			2, 500	1. 07	－
		令和 2 年度から、スマートウェルネス住宅等推進事業（地域生活拠点型再開発事業）に移行																	
	A16-002	住宅	一般	倉敷市	間接	再開発組合	－	－	倉敷市阿知 3 丁目東地区 暮らし・にぎわい再生事 業	多目的ホール、会議室の整備	倉敷市			■	■		85	1. 26	－
											小計						2, 585		
											合計						2, 585		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29	H30	H31	R02	R03
配分額 (a)	73	633	537	34	0
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	73	633	537	34	0
前年度からの繰越額 (d)	0	22	546	54	19
支払済額 (e)	51	109	1,029	69	19
翌年度繰越額 (f)	22	546	54	19	0
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d- e- f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

参考図面（社会資本整備総合交付金）



事前評価チェックシート

計画の名称： 倉敷市阿知3丁目東地区のにぎわいの再生と住環境の向上（Ⅱ期）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性	
1) 上位計画等との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性	
1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤事業の効果の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性	
1) 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
⑦地元の機運	

[illegible]

暮らし・にぎわい再生事業計画

倉敷市阿知3丁目東地区

平成31年2月

岡山県倉敷市

〔 令和元年7月 変更 〕

1. 再生事業計画区域

①計画区域の位置

岡山県倉敷市阿知3丁目の一部

②計画区域の面積

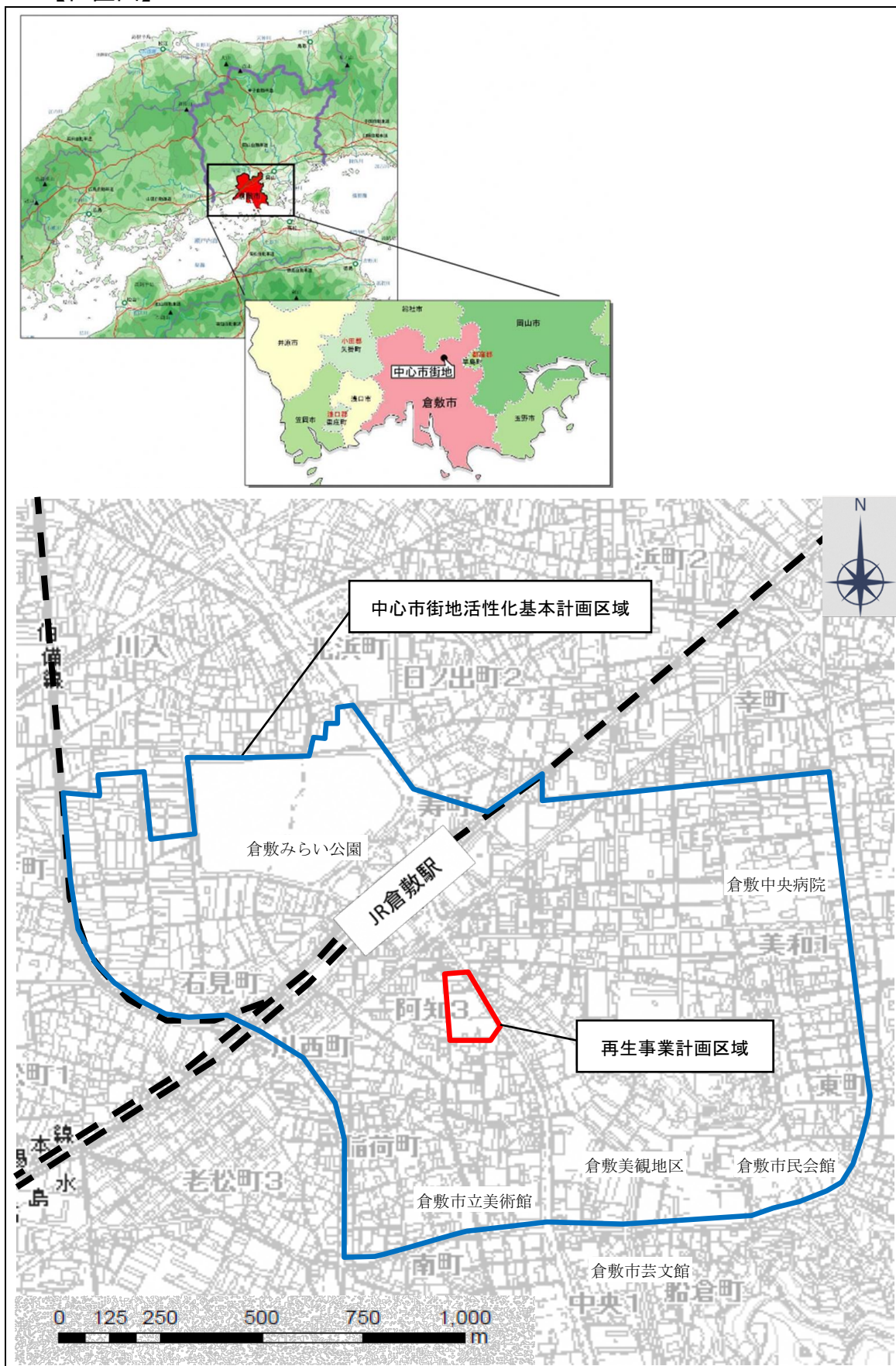
約 1.7 ha

③区域設定の考え方

本地区は、倉敷市の中心市街地活性化基本計画区域の中心部に当たり、JR倉敷駅から都市計画道路駅前古城池霞橋線を美観地区に向かい約200mに位置する、中心市街地の重要な一角である。しかしながら、現況は空き家や空き店舗の増加による賑わいの衰退、老朽木造住宅の密集等数々の都市問題を抱えている地区である。

そこで本地区では、市街地再開発事業の実施による倉敷市の玄関口及び美観地区周辺にふさわしいまちづくりを目指すと伴に、暮らし・にぎわい再生事業の都市機能導入支援により地域交流施設を整備し、賑わい創出と地域住民交流の活性化を図るため計画区域を設定した。

【位置図】



【位置図（詳細）】



2. 総事業費

約 8 5 百万円

3. 暮らし・にぎわい再生事業計画区域の整備方針

1) 再生事業計画区域が抱える課題	・ 周辺には地域交流の場がないことにより地域交流活動等が抑制されている。 ・ 空き家、空き店舗の増加等により活気が失われつつあり歩行者通行量が減少している。 【歩行者通行量】 平成 28 年 8 7 4 人／日 ※隣接する倉敷一番街の夏季休日通行量 ・ 住民の減少と高齢化が進んでいる。 【区域内居住者数】 平成 28 年 約 9 0 人
2) 再生事業計画区域で整備する予定の都市機能導入施設（箇条書きで記載）	【整備する予定の都市機能導入施設】 ・ 地域交流施設・・・多目的ホール，会議室
3) 都市機能導入施設の整備効果	・ 歩行者通行量の増加 1, 1 0 0 人／日 ・ 区域内居住者数の増加 約 5 0 0 人

4. 都市機能導入施設及び公開空地等の整備計画の概要（全体概要）

【事業概要書】

番号	補助対象施設	補助 種別	補助 区分	公益施設の種類の （注1）	事業 期間
①	多目的ホール・会議室	コア事業	都市機能まちなか立地支援	地域交流施設	R1-R2
②	住宅・店舗・駐車場等	市街地再開 発事業	—	—	H29-R3

（注1）公益施設の種類の、暮らし・にぎわい再生事業制度要綱第2条三に定義される

「社会福祉施設」「地域交流施設」「教育文化施設」「医療施設」「その他（その他地域住民等の共同の福祉又は利便のために必要な施設で、多数の者が出入りし利用することが想定される施設）」のうちから選択すること。

※コア事業， 附帯事業， その他関連事業（まち交等）ごとに記入すること。

※位置が分かるように、番号を別添1の図面に記載すること。

【事業スケジュール】

番号	H29	H30	H31/R1	R2	R3
①		設計	工事		
②		設計	工事		

（※計画作成時以降のスケジュールについて、記載すること）

5. 整備計画に従って行われる主要な事業の概要（個別）

【個別施設概要書】

番号	①	施設名	(仮称)倉敷市阿知3丁目東地区 再開発ビル北棟	事業期間	R1～R2
補助種別			コア事業	補助区分	都市機能まちなか立地支援
階数			地上7階	構造	耐火構造
敷地面積（㎡）			約3,510㎡	延床面積（㎡）	約10,840㎡
施設用途（都市機能導入施設の概要）					
地域交流施設（多目的ホール・会議室）、宿泊施設、商業施設、住宅					

6. 提出参考資料

- ・ 中心市街地活性化基本計画の認定書の写し

